

議会改革・活性化調査特別委員会記録【概要】

1 日 時 令和6年7月30日（火曜日）

午前 10時00分 開 会

午前 10時38分 閉 会

2 場 所 第2委員会室

3 出席委員

委員長	伊藤優子	副委員長	神野恭多
委員	片平恵美	委員	黒田真徳
委員	合田晋一郎	委員	藤田誠一
委員	山本健十郎	委員	高塚広義
委員	伊藤謙司	委員	大條雅久

4 欠席委員 な し

5 説明のため出席した者 な し

6 議会事務局職員出席者

局長	山本知輝	課長	徳永易丈
副課長	鴨田優子	係長	伊藤博徳
係長	村上佳史		

7 その他出席議員 議長 小野辰夫

8 本日の会議に付した事件 (1) 議会改革・活性化に関する調査

9 概 要

（委員長）本日の委員会は、議会の広報広聴に関する事及び議会の組織構成に関する事について、ご協議いただきたい。まず、議会の広報広聴に関する事について協議をお願いする。市議会だよりの一般質問要約掲載についてである。前回の委員会で皆様からいただいた意見、また、それを基にした案について、事前に資料を配布したが、この資料について議事課長から説明させる。

（議事課長）市議会だよりの一般質問要約掲載の検討に係る資料について説明する。別紙1の1ページ目には、前回の委員会で出された主な意見と検討協議に当たっての論点、二次元コードをつける場合のリンク先について記載している。市議会だよりが各世帯に配布された時点で閲覧可能なリンク先は、市議会ホームページの質問通告要旨のページか、別途作成する質問と答弁の要約、また

は一般質問部分のみの会議録のPDFファイルのいずれかに限られる。これらをもとに、2ページ目から5ページ目までに見直し案を示している。

まず、ページ数を増やさず4ページで掲載する場合であるが、A案は、質問通告要旨は、質問・答弁内容を掲載するもののみ掲載し、未掲載の質問通告要旨は、二次元コードにて市議会ホームページで閲覧できるようにし、質問・答弁内容は、30分以上は2項目以内、30分未満は1項目掲載し、質問内容はスペースの関係で1項目50字前後とする必要がある。イメージとしては、次の次のページに例を示しているが、上の二次元コードを市議会だよりに掲載し、そのリンク先を市議会ホームページの一般質問通告要旨のページとして、質問者全員の全ての質問通告要旨が閲覧できるようになる。次に、B案は、質問通告要旨や質問・答弁内容の掲載様式は現行と全く同じで、プラスアルファで、二次元コードにて市議会ホームページにリンクさせ、質問者全員の質問通告要旨と一般質問部分の会議録を閲覧できるようにするというものである。イメージとしては、さきほどのA案のリンク先の例の次のページに示しているが、上の二次元コードを市議会だよりに掲載し、そのリンク先を市議会ホームページの一般質問通告要旨のページとして、さらに議員ごとにPDFファイルで会議録の一般質問部分の閲覧ができるようにするというものである。このあとのC案、D案についても、このような形となる。次に、C案は、質問通告要旨は全て掲載し、質問・答弁内容は全て掲載せず、先ほどのB案と同じように、二次元コードにて市議会ホームページで質問者全員の質問通告要旨と会議録の一般質問部分の閲覧ができるようするというものである。

次に、ページ数を増やし6ページで掲載する場合であるが、D案は、現行の掲載内容に加えて30分未満も質問・答弁内容を1項目掲載するというものである。次に、E案は、D案の掲載内容に加えて二次元コードにて市議会ホームページで質問者全員の質問通告要旨と会議録の一般質問部分の閲覧ができるようにするというものである。資料の説明は以上であるが、1点ご報告する。前回の委員会のあと、再度、担当課に市政だより作成の方針を聞いたところ、市民からすれば文字が多いページは読みづらく、読まれにくくなる可能性があるため、写真、イラスト、二次元コード等を使いできるだけ字数を少なくすることに努めている。ページ数についても、ページ数が増えると重量が重くなり、配布する自治会から苦情が出たり、また、ページ数、情報が多くなると読みづらくなることから、できるだけページ数を増やさないように作成している、とのことであった。

(委員長) それでは、協議に入りたいと思う。各会派等で協議いただいていると思うが、どの案がよいかなど、皆さんから意見を願います。

(委員) わたしたちは、B案がいいということでまとまっている。

(委員) わたしたちは、C案になった。中では分かれたがC案が一番多かった。

(委員) わたしたちも様々な意見があった。やはり、ページ数を増やさないということ为原则にしていこうということで4ページのままということになった。あと、出された意見については、PDFのデータを、ここで言えばC案とか他にもあるが、これは議会事務局にもそんなに負担をかけられないということで議員がするということになった場合に非常にその手間であったり、議員ごとにこういうことに長けている人、長けていない人もいるので、それもいかなものかということになり、とりあえず3月議会だったら3か月後の6月号に載せることになれば、そこに今まで通り載せ

て、上にQRコードを載せてそこにいけば今の検索のところにとんで、そこで今まで議論した内容が全て分かるというような形で、すぐに今月見たいという人がいれば録画放送も後日観れるということで、そういう人についてはそちらの方に周知をすべきではないかということで。なので、ほぼ従来通りになるが、新しい議員も要約を作成するのは大変な時間と手間があるので極力現状を踏まえたうえで掲載月の市政だよりもQRコードを載せて全文を見てもらう方がいい。要約すれば言葉足らずの部分も出てくるのでそれも危惧している。

(委員) A案がいいと思う。理由は、議会の予算の従来の考えから言えば別冊で議会だよりを出すのが本来の趣旨だが、新居浜市はある事情からできていなかったのがA案の30分未満の方も1項目載せるのが必要だと思う。

(委員) A案がいいと思う。30分未満であっても1項目載せた方が市民の方としては、何を質問したかの中身が分かるということである。何も載せない、QRコードだけということになると、そこに行きたいという気持ちを持ってくれる人はいいが、そうではない人たちに議会のことに少しでも興味を持ってもらう呼び水のようなものもある。開かれた議会にしていくためには市民の方に興味を持ってもらうことがとても大事なことだと思う。見たい人はどうぞ、というよりはちょっとでも載せた方がいいと思い、A案である。

(委員) B案だと議員が自分で要約を作らないといけないということだが、基本的には今と同じ状態でQRコードを張り付けるという案でわたしたちはままとまっている。訂正する。

(委員長) それがB案である。

(委員) 全議員で抜粋データを作らないといけないのではないのか。

(議事課長) 1点補足させていただく。資料のQRコードがついているB案、C案、D案であるが、右半分の質問と答弁内容は会議録原文そのままであり、要約する必要がないのであえて職員もしくは議員が作成する必要がなく、最終会議録の完成版ができた時点でそのままなので作業量はそれほど必要ない。これをさらに分かりやすくするために要約するのであれば期間の問題などがあり、議員にも協力いただく必要があると思うが、この状態だとその必要はない。

(委員) 委員がおっしゃっていたのが今一つ分からないのだが、C案ということか。

(委員) 会派の中では、自分たちで要約するのは本当に時間がかかるし、事務局に任せるのも負担になるし、そこがネックになるので、掲載月の時にQRコードをつければ全文にとんでいくという話で。

(委員長) 掲載月にするのは難しいのでは。

(委員) 掲載月というのは3か月後である。待てないのであれば、もっと周知して録画放送を見てもらうこともできるし。今は、機能もついて各議員のところへ飛ぶ。

(議事課長) 1点補足する。B案、C案があるが、B案については、30分以上2項目以内で要約したものを載せるとなっているが、これは現行と全く同じである。だから、新たに要約を作成する作業量は発生しない。対して、C案は、要約を一切掲載しないので、その分の事務量は削減される。

(委員長) どうか。

(委員) 仕事量が増えたとしても、140字以内は書いた方がいいのではないかとということで話が通ったのでB案である。何もしなくていいというのではなくて、自分達でも要約はした方がいいよという話だったので。

(委員) 二次元コードを付けるだけでも改革になる。デジタル化で、議会もこれでしょうというのがまずは議会改革だと思っている。

(委員) 消去法でいった。まず、D案、E案の6ページに増やすことはないという前提で。A案に関しては50文字以内に要約すると趣旨をよく伝えきれないということで除外した。B案、C案に関しては、いろいろ意見が出たが公平性を取ろうということでC案に落ち着いた。

(委員長) 決を採ったらどうか。

(委員) 決を足らないと仕方がないね。

(委員) 自分のところの話で申し訳ないが、持ち帰らせてほしい。

(委員長) それで皆さんに納得していただいたら、皆さんと同じC案でいけるのではないかと思う。皆さんはこういう意見が多かったということのを会派に持って帰りたいということですね。

(委員) 先ほどの委員長のまとめはわたくしども3人は承知できない。C案にまとめるためではなく、具体的なイメージを会派全員では共有できてなかったものだから。それは申し訳ない、我々会派の問題で。それで、6ページは無理というのはこの委員会でも話が出たので、それはほぼ伝えてはいるが、その部分も含めて会派の全員がA案、B案、C案のイメージを共有したうえで今日の各会派の意見を伝えたいので整理をしたい。ここは多数決でどうこうという場ではないと思うので。ただ、どの案にまとめるという方向を決めたわけじゃないので持ち帰らせていただきたい。

(委員) せつかなので、つぶすところだけはつぶしておかないか。ページ数とか。二次元を付けるかということくらい。

(委員) 議会事務局に聞くが6ページにすることは何が問題なのか。予算の問題なのか。

(議事課長) 先ほども説明させていただいたが、まず、市政だより全体としての作成方針として、これ以上ボリュームを増やさないようにしている、文字数を増やしたりだとかそういったことが1点ある。あと、予算的なこと、前回の委員会でも説明したが、6ページにすると年間約30万円程の金額が増になるという点。年々市政だよりの印刷単価が上がってきており、2年前令和4年度2色刷りで0.5円税抜きだったものが、令和6年度は0.92円ということでかなり金額が上がっている。このまま令和7年度、8年度がさらに上がってくると、今現在のページ数を維持した場合においても予算的にはずいぶん増になるということがある。そのあたりを勘案する必要があると思う。もう1点、さきほども説明したが、ページ数が増えると全体の梱包重量が増えるので、そのことに関してシティプロモーション推進課には自治会から、運ぶのにかなり重くて困っているという苦情の声も届いているそうなので、そのあたりも考慮する必要があると思う。

(委員) 年間30万でしょ。議会でも前年度かな、220万円くらい議会改革の中で処理しているし、議会として市民に知ってもらおうという意味からすれば30万円は安いものではないかと思うが、これ以上は言わない。

(委員長) いろいろ意見はあるが、B案かC案ということで、もう一回持ち帰りたいということなので、了承いただきたいと思う。

(議事課長) 先ほどの話でB案かC案ということで、よりイメージが分かりやすいようにするためにB案、C案で過去の6月とかの議会の分でこういう感じになるというイメージを作ってもよいか。それで、答弁内容を一切のけてQRだけになるとかいうのをイメージしやすいようにB案、C案であれば仮作成ができるので。ただし、A案については要約掲載になるのでちょっと作成が難しい部分があるが、B案、C案はイメージを作成できるので、作成する。

(委員) 1点確認だが、現行、質問内容1項目140字以内となっているが、現在僕らの質問内容は70字ですよ。回答も入れて140字か。

(議事課長) 140字以内ということで1行14文字になっている。議員の皆様には質問内容を要約するために10行以内で収めていただいているが、実際のところはもう少し字数が少なくて7行とか8行くらいの議員が大半である。

(委員) 過去の議運の審議の中でスタートしたときは140字以内で140字に近い文章を書いた覚えがあるが、途中で30分以上の方が多いので1項目、70字から80字程度にまとめるよう依頼を受けたことがある。それは、4ページという枠のためだと思う。取り決めとしての140字以内には間違っていないと思うが、議会によっては1項目80字程度で依頼するという運用をしてきたと思う。そういう理解でよろしいか。

(議事課長) 委員が先ほど言ったとおりであり、市議会だよりの編集に関する申し合わせの中で、1項目につき140字以内とするとしているが、4ページ以内で作成するために質問者の人数とか質問項目の数によって調整することができるということで、お願いをすることがある。

(委員長) 140字以内ではあるが、議会の質問者数によって100字だったり80字だったり変わるということですね。それは皆様に承知おきいただきたいと思う。それで、課長にB案、C案のイメージを作ってもらい、それから協議いただきたいと思う。

(委員) 課長がB案、C案をまとめて各会派にそれを提起してくれてそれに基づいて次の会であるということか。

(委員長) そうである。よろしく願います。

(委員長) 次に、議会の組織・構成に関することについて協議をお願いします。議員定数及び議員報酬についてである。特別委員会として一定の結論を取りまとめられるようにしたいと思っているので、よろしく願います。

協議の前提として、来期からの議員定数、議員報酬をどのようにするかを協議していくということでもよろしいか。

[全員了承]

(委員長) それでは、まず議員定数について協議を行い、そのあと、協議した定数を踏まえた議員報酬について協議をいただくということでもよろしいか。

[全員了承]

(委員長) それでは、議員定数について協議いただくわけであるが、議員定数については全議員に関わることであるので、私としては、全議員を対象としたアンケートを実施して、その結果も踏まえて協議いただきたいと思っているが、いかがか。

[全員了承]

(委員長) 次に、アンケートの内容であるが、定数については、現状のままか、減らすか、減らすなら何人か、それぞれの理由についても記入するようにはどうかと思うが、いかがか。

[全員了承]

(委員長) 次に、報酬についてもあわせてアンケートを実施するということでよろしいか。

[全員了承]

(委員長) アンケートの内容については、現状のままか減らすか増やすか、その場合の金額、理由についても記入するようにはどうかと思うが、いかがか。

[全員了承]

(委員長) アンケートはラインワークスのアンケート機能を使って実施することを考えている。無記名で行うこともできるが、私としては、記名とし、一人一人の回答内容がわかるように集計結果を出したいと思うが、いかがか。

[全員了承]

(委員長) アンケート期間については、10日くらいあればよろしいか。

[全員了承]

(委員長) B案、C案は中で話し合うから送るだけ送ってもらって会派の中で決定しますね。

(委員) サイドブックの議会改革・活性化調査特別委員会の資料は全議員が見れるよね。ラインワークスの画面で見るとよりかサイドブックで見た方が見やすいと思う。

(委員長) それでは、今、決定した内容でアンケートを作成し、事務局からラインワークスで全議員に案内するようにする。よろしく願います。

アンケートに回答するにあたって、県内の議員定数の見直し状況や、類似団体の議員定数・議員報酬の状況が分かれば参考になると思うので、議事課長から説明させる。

(議事課長) 議員定数、議員報酬に関する資料について説明する。別紙2は、県内各市議会の直近の議員定数の見直し状況である。四国中央市は、本年11月が改選であるが、令和5年12月以降、議会改革調査特別委員会で類似都市の状況調査や議員へのアンケートを実施し、その結果を踏まえ、令和6年3月の議員全員協議会で次期定数は現状のままとすることを全会一致で決定したとのことである。次に、西条市は、来年2月が改選であるが、前回、令和3年の改選時に定数を30人から28人に削減している。次期改選に向けては、現時点では定数の見直しの検討・協議は行っていないとのことである。次に、今治市は、来年2月が改選であるが、令和5年11月の議会運営委員会での決定を経て、令和5年12月定例会において、2人削減の28人とする条例改正案が可決されている。次に、東温市は、本年11月が改選であるが、令和5年7月の議員定数等調査特別委員会での決定を経て、令和5年9月定例会において、1人削減の15人とする条例改正案が可決されている。次に、松山市は、令和8年5月が改選であるが、平成26年の改選時に定数を45人から

43人に削減している。次期改選に向けては、現時点では定数の見直しの検討・協議の動きはない状況である。次に、伊予市は、来年4月が改選であるが、本年6月の議会改革特別委員会での決定を経て、6月定例会において、1人削減の16人とする条例改正案が可決されている。次に、大洲市は、来年10月が改選であるが、本年5月の議会運営委員会での決定を経て、6月定例会において、3人削減の18人とする条例改正案が可決されている。なお、議会運営委員会での検討・協議に当たり、議員アンケートを実施したとのことである。次に、西予市は、本年5月16日から新任期となっているが、前期から定数の変更はない。次に、八幡浜市は、来年8月が改選であるが、本年6月の議会改革特別委員会で定数削減の方針を決定し、9月定例会までに市議会協議会を開き投票で新たな定数を決定し、9月定例会にて改正議案を提出予定とのことである。次に、宇和島市は、来年9月が改選であるが、本年5月の議会改革特別委員会での決定を経て、6月定例会において、4人削減の20人とする条例改正案が可決されている。以上が県内各市の状況である。

続いて、資料の次のページ、市議会議員定数・報酬に関する調査結果について、この表は、全国市議会議長会が毎年行っている調査の結果をもとに、全国の人口10万人から12万人までの市、56市をピックアップし、人口の少ない順に並べたものである。数値は令和5年12月31日時点のものである。次のページ、右肩に②と記載している表は、議員定数の少ない順に並べたもので、次のページ③は議員報酬月額が少ない順、次のページ④は議員定数に議員報酬月額を掛けた合計金額の少ない順に並べたものである。④の表の枠外、一番下のところであるが、人口10万人から12万人の市、56市の議員定数の平均は、23.2人、議員1人あたり平均人口は、4,848人、議員報酬月額の平均は、45万2,136円、議員定数に議員報酬月額を掛けた合計金額の平均は、1,039万1,929円となっており、新居浜市と比較すると、議員定数、議員報酬月額、議員定数に報酬月額を掛けた合計金額、いずれも新居浜市は平均より多い状況となっており、特に議員定数に議員報酬月額をかけた合計金額では、56市中2番目に高くなっている。次のページ⑤は、愛媛県内各市の議員定数と議員報酬の状況である。また、表の下側は、新居浜市のこれまでの議員定数削減と議員報酬改定の状況である。以上で説明を終わる。

(委員長) ただいま、議事課長から説明があったが、アンケートの参考のためにこれらの資料を全議員に電子配布し、確認いただいたうえで回答していただければと思っている。次回の委員会では、アンケートの集計結果や他市の状況等を踏まえて協議したいと思う。アンケートの結果が集計できたら、委員の皆様にも公開するので、会派の皆様にも見ていただいて、議員定数に関する意見を聞いておいていただければと思うので、よろしく願います。

なお、次回の委員会は、9月24日(火)から9月26日(木)の間で開催したいと思う。本日はこれにて閉会する。